



自然と歴史と人が輝く
未来都市 かんざき

神埼

題字 八谷 未来 さん

3

2018 March

Vol.144

家々に福を呼び込む 姉の七福神(P3に関連記事)



特集

かんざき幕末維新博

スマホで市報



市報かんだきもくじ 3月

CONTENTS

かんざき幕末維新博	4	行政トピックス	17
さが桜マラソン2018	6	進めよう！男女共同参画	19
市長の部屋／夜の市長室	7	神崎市青少年育成だより／公民館長実績発表会／土曜の夜のミュージックタイム	20
市長・市議会議員選挙／脊振町複合施設建設基本設計を策定	8	図書館からのお知らせ	21
休日窓口開庁／不妊治療費助成	9	子育て支援センターだより／おむすびチムからのお知らせ	22
国民健康保険証が新しくなります	10	こども健康カレンダー／日曜祝日在宅当番	23
子ども予防接種週間／子どもの医療費受給資格証の送付	11	医／おゆずり会開催	24
国保・後期高齢者医療保険の負担額一部変更／特別弔慰金請求期限迫る	12	相談	24
国民年金の任意加入制度／飲み残しの薬に注意／健康コラム	13	物産館情報／水車の里遊学館ギャラリー／はんぎーホール行事予定	25
防災情報を発信しています／廃車・名義変更の手続き	14	情報板	26
下水道等使用人員変更届／小規模契約希望者の登録／不法投棄／消費生活相談窓口	15	まちの話題	28
アルミ缶回収／神埼まちあるき／神埼市長旗全国選抜中学生剣道大会／スポレク祭	16	よかね神埼	30
		吉野ヶ里歴史公園から／文芸コーナー	31
		あつまれ！かんざきっ子	32



表紙「神埼」題字作者



千代田中学校 3年生
八谷 未来 さん

神埼

作者コメント

私は中学3年生でもうすぐ卒業します。小学校から、9年間一緒にいた友達や中学校で出会った友達と高校が離れてしまうので、今一緒にいられる時間を大切にしていきたい、もっと思い出を増やしていきたいと思っています。

また、第一志望の高校に合格できるように、自分がやるべきことをしっかり行って、必ず第一志望の高校に合格します。

神崎市 各課直通 電話番号

【本庁】(代表☎52-1111)
(神崎町神崎 410 番地)

企画課	☎37-0102
庁舎整備課	☎37-0011
政策推進室	☎37-0153
総務課	☎37-0100
〃	☎37-0088
防災危機管理課	☎37-0104
財政課	☎37-0101
税務課	☎37-0114
市民課	☎37-0115
〃	☎37-0116
健康増進課	☎51-1234
生活環境推進室	☎37-0112
福祉課	☎37-0110
高齢障がい課	☎37-0111
農政水産課	☎37-0117
商工観光課	☎37-0107
建設課	☎37-0103
ダム対策課	☎37-0103
下水道課	☎37-0105
会計課	☎37-0113
監査事務局	☎37-0109
農業委員会	☎37-0108
選挙管理委員会	☎37-0100

【千代田支所】
(千代田町直島 166 番地 1)

総合窓口課	
総合窓口班	☎44-3071
総務係	☎44-2111
企画課	
情報管理係	☎44-2112
議会事務局	☎44-2082
学校教育総務課	☎44-2296
学校教育課	☎44-2384
市史編纂室	☎44-2731
社会教育課	☎44-2731
農政水産課分室	☎44-2198

【脊振支所】
(脊振町広滝 558 番地 2)

総合窓口課	(代表)
ダム対策課分室	☎59-2111
林業課	

【各種施設】

中央公民館	☎53-2325
神崎市立図書館	☎53-2304
はんぎーホール	☎44-2051
千代田町保健センター	☎44-2021
脊振公民館	☎59-2131
神崎市学校給食 共同調理場	☎51-4008
脊振診療所	☎59-2321

今月の行事

3月18日(日) さが桜マラソン2018

24日(土)、25日(日) 休日窓口開庁(12時まで)

25日(日) 伊東玄朴生誕祭

29日(木) 神崎市長旗全国選抜中学生剣道大会

●今月の納期

国民健康保険税(10期)

●市役所開庁時間

平日 8:30~17:15

※毎週火曜日は、市民課窓口は19時まで受付。(本庁のみ)

●市の広報番組

・「よかね神崎」ぶんぶんテレビの15分番組
毎月第3・4週

8:30~、12:30~、21:30~

※番組編成により放送時間が変更になる場合があります。

・「MY DEAR 神崎」FM佐賀 毎週水曜日 12:00~

市のうごき (平成30年1月末日現在)

- 人 □ 31,851人 (対前月-28人)
(男/15,303人 女/16,548人)
- 世帯数 11,726世帯 (対前月+3世帯)

今月の表紙

「家々に福を呼び込む 姉の七福神」

千代田町姉地区で神崎市歴史まちづくり遺産の「姉の七福神」が行われ、七福神にふんじた地区の男性が集落内の家々を回り、家内安全や無病息災などを祈願しました。

着物をまとい、墨でひげや眉毛を描きます。姉の七福神は、一般的な七福神の寿老人、福祿寿、弁財天に代わり、「じい」「ばあ」「嫁」がいるのが特徴。七福神と「宰領人」と呼ばれる案内役の8人が1組になり、2組で各家を回りました。

「福はごなたにどでんどつさい」とめでたい口上を述べながら家の上がり、お話を披露すると、料理や酒が振る舞われ、家人と談笑し交流を深めていました。

初めて参加した30代の男性は「緊張したが、350年以上続く伝統行事、これからも伝えていきたいです」と笑顔で語っていました。